

十干十二支

2021年（令和3年）の干支は辛丑（かのと・うし）です。

干支（えと）は「甲（きのえ）・乙（きのと）・丙（ひのえ）・丁（ひのと）・戊（つちのえ）・己（つちのと）・庚（かのえ）・辛（かのと）・壬（みずのえ）・癸（みずのと）」の「十干（じっかん）」と、「子（ね）・丑（うし）・寅（とら）・卯（う）・辰（たつ）・巳（み）・午（うま）・未（ひつじ）・申（さる）・酉（とり）・戌（いぬ）・亥（い）」の「十二支」を組み合わせたものを指します。

となります。

「干支」は「十干」と「十二支」が組み合わされた60通り、つまり、60年で一巡します。これは生まれてから還暦まで、毎年干支が異なることを意味します。

1年生は3年生の干支は、平成17年生は乙酉、16年生は甲申、15年生は癸未、14年生は壬午です。

生徒諸君は十二支に込められた意味を信じるか否か分かりませんが、「午年は陽気、派手好き、人から好かれる。未年は穏やかで人情に厚い人となり。申年は器用で臨機応変に対応できる。酉年は親切で世話好き、派手好きで人を呼び込む」と言われています。

それぞれの十二支にちなんで言われてきた特徴ですが、当たっていますか。

〇一月の言葉

日本の四季と自然現象、風土、人の暮らしを詩的に理解できるベストセラーは『歳時記』です。

〇語彙力チェック

①「彼はセイサイがない」の片仮名を漢字に直すと次のどれか。

A 精細 B 制裁 C 精彩

② 次の文の（ ）に清算・精算のいずれかを入れよ。

A 電車賃を（ ）する。

B 彼女との関係を（ ）する。

③ 「相手の顔を正視できない」とは次のどんな場合か。

A もっと長く話して欲しいと思う場合

B こちらの心によましい所がある場合

C 相手の言葉が十分理解できない場合

④ 「生死の岸頭に・・・」の「・・・」に入る語は次のどれか。

A 遊ぶ B 苦しむ C 悩む

（解答）① C ② A 精算 B 清算 ③ B

④ A